

足利市民文化 財団 報

第44号
令和8年9月1日

発行
公益財団法人 足利市民文化財団
栃木県足利市本城3丁目2145
(足利市教育委員会事務局文化課内)
電話 0284-20-2229

「脚光を浴びた2点の美術品」の展示

まき しま にょきゅう
牧島如鳩は、足利市現在の上洪垂町出身。父親は、田崎草雲の弟子であった。如鳩は、1908年神田のニコライ神学校に入学し、山下りんからイコンを習う。1946年に福島県の小名浜に移る。「魚籃観音像」は、1952年に、不漁の続いた小名浜漁業協同組合から大漁を祈願のため絵画を依頼され作成したもので、トラックの荷台に絵画を乗せて町を練り歩いたところ、その後は大漁が続いたという。この作品が、大阪中之島美術館「日本美術の鉅脈展 未来の国宝を探せ!」の出品作品に選ばれ展示。また、岡山県立美術館「美と祈りー近現代日本美術にみるキリスト教ー」にも展示された。(当財団で、平成23年に購入)

牧島如鳩「魚籃観音像」



大阪中之島美術館展示の様子
(2025年6/21~8/31展示)



岡山県立美術館展示の様子
(2026年1/9~3/1展示)



川島理一郎「ソリチュード」

川島理一郎は、足利市現在の通5丁目出身。1905年にアメリカに渡り、ナショナル・アカデミー・オブ・デザインを卒業し、1911年渡仏しアカデミー・ジュリアン等に学ぶ。1913年サロン・ドートンヌに入選。この頃ギリシャ芸術に魅せられ研究に没頭。以後、頻繁に日仏間を往復し、パリの最新モードを本国に伝えた。1935年以後には、中国、タイ、フィリピン等アジアを描いた、作品の多くは、日展に出品。当財団では、55作品を所蔵し、平成8年に購入した「ソリチュード」が、シンガポール国立美術館「CITY OF OTHERS」展に展示された。



シンガポール国立美術館(2025年4/2~8/17展示)

案内板による 文化財めぐり

本財団では、市内の文化財の案内板を設置しております。



西場の百観音(西場町)

西場の百観音は、西場町地内、通称「観音山」南麓斜面の勘行寺(かんぎょうじ)跡に、石造の観世音菩提像が100体、南面して3段に整然と並んでいます。西国、坂東、秩父百番の霊場巡礼の功德を分かち合おうとした勘行寺僧侶の布教姿勢と、それに呼応した村人の信仰の姿を知るうえで貴重な民俗文化財です。(江戸時代)



徳蔵寺の文化財(猿田町)

徳蔵寺の文化財は、ピラミッド状に高く造られた台の四面それぞれに10段を設け、この段に20体ほどの羅漢の小座像を並べています。合計で510体の羅漢像と阿弥陀三尊像があり、像の総数は513躯となります。(江戸時代)

正蓮寺の文化財(板倉町)



正蓮寺の文化財として、2体の大日如来坐像があります。それぞれ宝冠をかぶり、蓮華座に座っていますが、大日如来の手の印相の違いから、金剛界と胎藏界、二つの世界の大日如来坐像を表しています。この他、紋織物、逆修塔、コウヤマキ、カヤが文化財となっています。

所蔵品



文化財団では、貴重な文化財等の足利市外への散逸を防ぐため、本市にゆかりのある貴重な美術品、文化財等の保護事業を進めています。3月末現在の文化財団の所蔵品は、右表のとおりです。

所蔵品種別一覧▶

種 別	員 数	取得金額(円)
古 文 書 等	2,219	7,459,890
刀 剣・甲 冑・銃	12	354,500,000
上記に付随する工芸品等	263	60,515,000
和 鏡	41	5,500,000
能 面	2	2,000,000
織 物 等	220	1,700,000
絵 画 等	82	72,547,000
合 計	2,839	504,221,890



朱漆塗金蛭巻鞘大小拵



山姥切国広拵



刀装具 鐔



川島理一郎絵画「置物の犬を前に」
令和7年度購入

足利市民文化財団とは

足利市の持つ自然的・歴史的環境や関連する芸術品・文化財等の保護、また芸術・文化の振興、さらに文化施設の整備の促進などを目的に、昭和57年1月に発足し、平成25年4月には、新公益法人制度に基づく公益財団法人の認定を受けました。この間、事業を支える基盤づくりとして募金活動を進め、この預金利子を事業資金として活用しております。今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年度

事業報告 及び 決算諸表承認

令和8年6月22日開催の評議員会で、令和7年度の事業報告及び決算が承認されました。

美術品・文化財の収集、展示、貸出事業

①コレクション展－刀装の美－の開催(足利市・足利市教育委員会と共催事業)

実施期間 令和7年10月25日(土)～12月21日(日) 開催場所 足利市立美術館
 入場者数 3,179人 展示内容 当財団所有の脇指「布袋国広」の他、刀装具等全101点を展示

②足利市民文化財団所蔵品展

実施期間 令和8年1月10日(土)～1月25日(日) 開催場所 足利市立美術館
 入場者数 1,376人 展示内容 川島理一郎の作品26点を展示

③美術品の収集

川島理一郎の作品「置物の犬を前に」を購入

④美術品の貸出

- ・牧島如鳩の作品を、大阪中之島美術館と岡山県立美術館へ貸出
- ・川島理一郎の作品を、シンガポール国立美術館へ貸出



コレクション展チラシ



所蔵品展チラシ



所蔵品展

文化財紹介・啓発事業

- 文化財のパネル貸出 各地区文化祭等 105枚
- 文化財案内板の建替 1ヶ所 光明寺(田島町)
- 歴史セミナー
 - ・令和7年 6月16日(月) 徳川美術館、名古屋城(名古屋市コース)
 - ・令和7年12月 7日(日) 戦国武将足利長尾の城跡(足利市コース)
 - ・令和8年 2月 8日(日) 足利氏ゆかりの寺社等めぐり(鎌倉市コース)

地域の芸術・文化活動、文化財保護、自然環境保全活動を行う団体等に対する助成事業

次の事業に助成金を交付しました。

- 自然環境保全活動への支援
 - ◎源氏ホテル等養殖・保護・啓発事業 主催団体：名草源氏ホテル保存会
 - ◎カタクリ群生地への保護事業 主催団体：名草観光協会カタクリ部会

●足利の文化財特別公開事業 特別公開事業実行委員会

●足利市民文化祭・優秀作品展

期 間 令和7年9月27日(土)～11月30日(日) 令和8年1月10日(土)～1月25日(日)
 主 催 足利市民文化祭運営協議会
 場 所 あしかがフラワーパークプラザ、市立美術館他

●各種団体への助成

市内の芸術・文化団体の自主的活動等を支援するため、39団体に対し文化活動の費用の一部を助成しました。

●文化財保存整備への助成

木造薬師如来坐像(薬師寺所有)の修理事業

●伝統芸能保存活動への助成

令和8年2月1日開催の民俗芸能大会

文化講演会を文化協会と共催で行いました

期 日 令和8年2月14日(土)
 あしかがフラワーパークプラザ 小ホール
 演 題 「SNS時代における写真の未来」
 講 師 写真家 山口 規子 氏
 参加者 150名



文化講演会チラシ

基本財産及び特定資産の増減及びその残高

文化財団の基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりです。(単位：円)

科 目	令和6年度末 残高	令和7年度 増減額	令和7年度末 残高
基本財産			
投資有価証券	524,890,000	△1,081,768	523,808,232
定期預金	5,550,000	1,081,768	6,631,768
美術品	502,671,890	1,550,000	504,221,890
小 計	1,033,111,890	101,550,000	1,034,661,890
特定資産			
投資有価証券	317,756,000	0	317,756,000
定期預金	35,161,816	0	35,161,816
小 計	352,917,816	0	352,917,816
合 計	1,386,029,706	0	1,387,579,706

令和8年度事業予定

本財団の設立趣旨に沿った芸術品・文化財等の保護、芸術・文化活動振興事業などに資産からの運用益金を充てて事業を実施します。

文化財紹介・啓発事業

①歴史セミナー

- ・日本遺産(近世日本の教育遺産群)
見学 水戸市コース

期 日 令和9年2月

②文化財めぐりマップの作製

③文化財案内板整備



※①の詳細については、「あしかがみ」でお知らせします。

文化講演会の開催事業

(市、市教委、文化協会との共催)

期 日 令和8年9月22日(火) 14時

会 場 あしかがフラワーパーク
プラザ(市民プラザ)小ホール

演 題 足利樺崎寺と運慶
— 二体の大日如来像 —

講 師 ・半蔵門ミュージアム館長
山本 勉氏
・文星芸術大学教授
大澤 慶子氏
・史跡足利学校事務所学芸員
大澤 伸啓氏

美術品・文化財の展示事業 所蔵品展

期 日 令和9年1月16日～31日

会 場 足利市立
美術館



美術品・文化財の収集、貸出事業

足利市にゆかりのある画家等の作品や貴重な文化財などの散逸を防ぐため、芸術品や美術品の収集や所蔵品の展示貸出。

芸術・文化活動団体等の事業に助成します

芸術・文化の振興に寄与すると認められる団体に対し、その事業に必要な費用の一部を審査のうえ助成します。

対象団体

- 次の要件にすべて該当する団体
- ◎足利市内に住所又は活動の本拠を有する団体
- ◎一定の活動実績があり、広く市民に事業を公開する団体
- ◎団体規約等を有し、代表者が明らかな団体

対象事業

- ◎文化活動の成果発表事業(展覧会、発表会)
- ◎文化活動研修事業(講演会、講座など)
- ◎自然・文化財保護活動事業

※営利、政治及び宗教活動を目的とする事業や参加者を会員等に限定する事業は対象となりません。

所定の助成金申請書を9月30日(水)までに足利市民文化財団事務局(教育委員会事務局文化課内)に提出してください。
(申請書は、ホームページからダウンロードできます。)

問 合 せ 先

足利市民文化財団事務局 ☎20-2229

芸術・文化に関する情報提供

- ・文化財団報の発行
- ・インターネット等の活用

足利市民文化財団HP▶



寄付のお願い

足利市民文化財団事務局 ☎20-2229

足利市民文化財団の趣旨となる諸事業を実施していくため「足利市文化振興事業寄付金」にご協力をお願いいたします。あしかがフラワーパークプラザ・市立美術館などの施設に設置の募金箱でも寄付が可能です。毎年、皆様から寄付をいただいておりますことに感謝申し上げます。

令和7年度のご寄付
ありがとうございました。

- ・30,000円 足利文化協会
- ・40,033円 施設設置募金箱



いつもご愛読ありがとうございます。足利市には、日本最古の学校 史跡「足利学校」(日本遺産認定)や、足利氏ゆかりの国宝「鍬阿寺」、縁結びの神様として有名な「織姫神社」などの歴史的建造物等の他、数多くの文化財が残されています。そんな歴史あるまちを歩きながら、豊かな文化財を、より多くの人に知ってもらい、また次の世代に残していく

大切さを改めて感じております。

今後も、足利市の魅力である歴史、自然、文化が心地よく溶け合うような文化イベントを企画していきたいと考えています。これからも、財団の趣旨に則り、歴史ある文化事業・活動等を応援してまいります。